

6. 国民生活と福祉 (全10時間)

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
1	わが国は、国民の生活の向上のために様々なことをしている。わが国と国民の生活と国の役割	<p>1 身近な地域の中で、国や地方公共団体が管理・運営している施設を交流する。</p> <p>国や地方公共団体は、どのようなはたらきをしているのだろうか。</p> <p>2 政府や地方公共団体がどんなことにお金を使っているのかを調べる。 ・社会保障関係費で、国民の生活を保障しているために使っている。 単元を貫く課題 わが国と国民の生活の向上のために、政府はどんな働きをしているのだろうか</p> <p>3 学習のまとめをする。</p> <p>国は国民の生活を補助したり、社会資本の整備、そして自衛隊のように国の安全を守ったりと、我々国民にとって重要な働きをしているようだ。</p>	<p>ア - 国や地方公共団体と私たちの生活が、施設や予算で結びついていることに関心をもっている。 場面 「学習活動2の直後」</p> <p>方法 「ノートの記述」 自分の生活と関わらせて、国や地方公共団体がお金を費やしていることに関心をもっているか分析する。</p>	<p>身近な地域の地形図 援助 ・身近な施設を見つけることでの自分の生活と密接に関わっていることをとらえさせていく。 歳出の内訳 新聞記事 援助 ・国の歳出を丹念に見させて、全体の金額や、割合についてとらえさせていく。</p>
2	税の種類としくみ	<p>1 国はどのようにしてお金を集めているのかを話し合う。 ・わたしたちが商品を買ったときに消費税として集めている。</p> <p>税にはどんな種類があるのだろうか</p> <p>2 納め方と納めるところを明確にしながらか調べる。 国税 地方税 直接税 所得税 法人税 自動車税... 間接税 消費税... 酒税...</p> <p>3 累進課税制度のしくみについて考える。 ・税の負担のつり合いを図っている。</p> <p>4 学習のまとめをする。</p> <p>税にはいろいろな種類がある。所得税は、累進課税を導入することによって税負担の均衡を図っている。このようにして国が私たちの生活を支えるための資金を集めているんだ。</p>	<p>イ - 税の種類や税負担の均衡を図るための工夫について、多面的・多角的に考察している。 エ - 租税が国民福祉に果たす役割について理解している 場面 「授業後」</p> <p>方法 「ノートの記述」 収入の違いに応じて税率が違うことについて、様々な立場から考察しているかを分析する。</p>	<p>税のパンフレット 「私たちの生活と税」 援助 ・国にとって収入の割合が高いのが税であることをグラフからつかませ、直接税や間接税、また国税や地方税など納め方や納めるところに分けて読みとらせ、整理させる。</p>
3	納税の意義	<p>1 国の歳入と歳出の様子から、気づいたことを交流する。 ・税金からの収入が60%に満たず不足分を国債として発行し国民に借金をしている。</p> <p>37兆円もの借金をして予算を組んでいるのはなぜだろう</p> <p>2 資料をもとにして自分の考えをまとめる。 ・税率を引き下げ、景気回復を図ろうとしている。</p> <p>3 国債残高の移り変わりから国の在り方を考える。 ・国債をこのまま発行し続けていいのだろうか不安である。 ・国民の要求が多すぎるのではないのか。</p> <p>4 学習のまとめをする。</p> <p>国は多額の借金をしてまでも私たちの生活を保障してくれている。しかし、このままでは借金がどんどん膨れあがって取り返しがつかなくなってしまう。収入を増やしたり、国債を減らしたりすることを考えると、税金の必要性がよくわかる。</p>	<p>エ - 国は国債を発行して、景気対策や雇用促進を推進し、国民の生活を安定させていることを理解している。 場面 「授業後」</p> <p>方法 「ノートの記述」 国債を発行してまで予算を組んでいる理由とその問題点について理解しているかどうかを分析する。</p>	<p>歳入と歳出 援助 ・今年度の予算をもとにして、現在の状況をつかませていく。 財政政策 公共投資の効果 国債残高の移り変わり 援助 ・借金に対する利子に利子がつき、どんどん膨れあがっていることに気づかせる。</p>

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
4	高齢者の割合が急速に増えている。高齢者が暮らす社会の課題をつかむ。	<p>1 日本の年齢別人口構成をとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の割合が急速に増えている。 ・子どもの数が減るとともに労働力人口が減っている。 <p>高齢者が安心して暮らせるようにするためにはどのようなことが必要なのだろうか</p> <p>2 資料をもとに課題追究をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aさんは今一人暮らしをしているが、将来体が不自由になったときに誰に世話をしてもらえばいいのかわからず不安を抱いている。そのため、ホームヘルパーの充実が必要だ。 <p>3 市役所の方の話を聞き、自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在一人暮らしをしている人が多く今後増加傾向にある。また、税収入から老人福祉を向上させていることもわかった。 <p>4 学習のまとめをする。</p> <p>高齢者に対する制度が、国や市町村単位でも整えられつつあることがわかった。その中で、やはり資金面や人材面で、まだ課題があることがわかった。</p>	<p>イ - 現代社会の特色をふまえ、高齢化社会への国の備えについて、多面的・多角的に考察している。</p> <p>ウ - 新聞やパンフレットなどを活用し、自分の考えをわかりやすくまとめている。</p> <p>場面 「学習活動2の直後」</p> <p>方法 「感想の記述」</p> <p>課題についての追究の視点や思考の変化を分析する。また、学習のまとめからは、市役所の方の話を聞いて、社会認識の広がりや深まりを分析する。</p>	<p>年齢別人口ピラミッド 将来の人口ピラミッド像</p> <p>援助 ・高齢者の割合が増加していくことに着目させる。</p> <p>高齢者Aさんの話 ヨーロッパ諸国の社会保障制度 日本国憲法第25条（生存権） 市役所の方の話</p> <p>援助 ・実際に来ていただけるのとよいのだが取材したときのVTRでもよい。</p>
5	2000年にスタートした介護保険制度を通じて社会の課題を国や市町村の取り組みで解決する。	<p>1 高齢化社会に向けた国の具体的な政策を調べる。</p> <p>介護保険制度はどのようなしくみになっているのだろうか</p> <p>2 資料を自分で収集して課題を追究する。</p> <p>対象... 65歳以上の人と、老化を原因とした病気で介護が必要な40～64歳の人 申請... 市役所、役場 訪問調査 コンピュータによる一次判定 介護認定審査会による二次判定</p> <p>認定する 認定しない 施設への入所やホームヘルパーによる在宅サービス 不服申し立て</p> <p>3 学習のまとめをする。</p> <p>高齢者が安心して生活できるように国も対策を考えている。しかし、判定についてやや厳しさがあるように思う。不服申し立てなどの件数についても興味が出てきた。実際にこの制度のもとで生活して見える人の話を聞いてみたい。</p>	<p>エ - 介護保険制度のねらいと、制度におけるよさや課題点を把握している。</p> <p>場面 「授業後」</p> <p>方法 「レポートのまとめ」</p> <p>介護保障制度の内容だけでなく、高齢者にとって安心できる部分と、制度の課題点をも指摘しながらまとめているか分析する。</p>	<p>介護保険制度のしくみ（パンフレット） 新聞記事 介護保険法 市役所備え付けのパンフレット</p> <p>援助 ・様々な面から調べてよさと課題を考察することができると助言していく。また、ホームヘルパーの資格や現在の人数の動向などにも着目させたい。</p>

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
6	介護保険制度 現在一人暮らしを暮らす高齢者を介護するにあたっての課題を学ぶ。	1 介護保険制度を受けてみえる人の生活を調べる。 高齢者Mさんは、介護保険制度のもとでどんな生活をしているのだろう ・介護保険の対象として認められることが難しく苦勞した。現在はホームヘルパーの方にお世話になり、安心して暮らすことができる。 ・家にいながら介護してもらえるので体がとてても楽である。 ・費用負担については、わずか10%なのでとても楽で助かっている。 2 Mさんの話をもとにして、国の保障制度について自分の考えをまとめる。 3 学習のまとめをする。	イ - 介護保険制度のもとでの高齢者の生活を多面的・多角的に考察している。 場面 「学習活動2の直後」 方法 「発言内容」 介護保険度について、介護を受ける高齢者側と、介護をするホームヘルパー側の両面から考察しているか分析する。	VTR「Mさんの生活」 Mさんの取材レポート ホームヘルパーの話、仕事内容 援助 ・前時に調べた内容について疑問に思っていたことや、読みとれない心情の部分にも着目するよう助言する。
7	公害の防止 戦後の急激な経済成長の中で公害が広がったこと、被害を受けた人々の苦しみ、公害防止の取り組み、公害防止の取り組みの重要性を学ぶ。	1 公害の発生と国の対策について考える。 ・1950年代の高度経済成長期に集中して起きている。 公害が広がり、多くの人々が苦しんでいるのに救済が遅れたのはなぜだろう 2 資料をもとに、課題追究をする。 ・被害を受けた人々が、住民運動や裁判を起こしはじめたことで公害批判の声が高まり、ようやく公害対策に取りかかった。 3 産業の発展と人々の生活の調和について、公害に苦しむ人々の思いから自分の考えをまとめる。 ・国が世界をリードするほど発達していく中で、犠牲になった人々がいることを忘れてはいけない。 ・産業の発達だけに力を入れるのではなく、これからは人々の生活を守っていくことに力を入れていかなければいけない。 4 学習のまとめをする。	エ - 産業の発展にともなう公害問題について理解し、積極的な生活環境の保全の必要性を理解している。 場面 「学習活動3の直後」 方法 「ノートの記述」 経済成長の裏側で公害が発生したことや、国の対応が進められ、それがもたらした環境保護の動きがあることを理解しているか分析する。	四大公害略年表 援助 ・裁判を起こしているが、その裁判に長い年月が費やされていることに気づかせる。 水俣病関連年表 水俣病訴訟の経過 VTR「水俣は今」 GNPの移り変わり 四大公害裁判記録 公害対策基本法 援助 ・経済成長と人々の苦しみ、国の対応の三つの面をとらえさせたい。
8・9	行政政策の課題 世界第2位を誇る日本のGNPの裏側で様々な問題が発生していることを、今までの学習や新聞などからつかみ今後の在り方を考える。また国民生活の向上を図るための政策について自分なりのまとめをする。	1 既習学習をふまえて、新聞記事から日本の課題を発見する。 現在の日本の経済にはどんな課題があるのだろう 2 課題を以下の視点に分けて調査する。 ・税制度の在り方 ・社会保障制度の在り方 ・環境保全 ・消費者主権 など (課題となる姿を明らかにして、その原因とこれからの取り組みをふまえて1枚のレポートにまとめる。) 3 今後日本は課題に向けてどのような取り組みをしていかなければならないかを交流する。	イ - 国や地方公共団体の経済活動の在り方について、国民生活と福祉の向上の観点や、納税者などの立場から公正に判断している。 場面 「学習活動2の最中」 方法 「レポートの内容」 課題についての記述内容や追究の視点、思考の変化が見られるかを分析する。	新聞記事 レポート用紙
		日本は経済が発展しているものの、福祉や環境保全など多くの課題を残す。本当の豊かな社会をめざすにはこの課題に真剣に取り組んでいかなければならないと強く感じた。		

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
10 税の作文	<p>今までの学習を振り返り、税金の意義についてまとめる。</p> <p>「税金の意義について」をまとめる。</p>	<p>今までの学習を振り返り、税について自分の考えをまとめる。</p> <p>今までの学習を振り返り、税の作文に自分の考えをまとめよう。</p> <p>—— 募集要項の説明 ——</p> <p>原稿用紙400字...3枚以内 題...内容がわかりやすいもの 内容...税の意義について</p>	<p>ウ - 新聞やパンフレット、既習学習を活用し、自分の考えをまとめている。</p> <p>場面 「作文の作成中」</p> <p>方法 「作文の内容」 税が私たちの生活を支えている現状や、果たす役割について、資料や既習学習を適切に活用し要点を得てまとめているかを分析する。</p>	<p>今までの学習ノート 私たちの生活と税</p> <p>・原稿用紙 (一人5枚配布)</p>
<p>わたしたちの生活の向上のために税金が使われていることが分かった。また、今の日本経済はとても危機的な状況だと思う。これからの税率や世の中の経済の動きに関心をもって見ていきたいし、国民の一人として納税の義務をきちんと果たし、税の大切さを常に心に持ち続けていきたいと思う。</p>				